

セグメント分析取組事例②（愛知県日進市）

分析の目的

○公共施設等のマネジメント及び行政評価等への活用に向けて、課題の把握や意思決定過程における判断材料の1つとすることを目的として、施設別行政コスト計算書及び貸借対照表を作成。

事例概要

- 非財務情報として、人口と利用者数を用い、1人あたりの純行政コストを算出することにより、施設間比較が可能となった。
- 固定資産の額は固定資産台帳、地方債の額は起債台帳から、それぞれ対象施設に直接関係する金額を抽出し、計上。
- 賞与引当金は平均単価に職員数を乗じて算出。
- 執行データ又は仕訳帳から対象施設に関する支出を抽出し、計上。
- 人件費は、平均単価に直接従事する人数を乗じて算出。
- 複数施設で契約している光熱水費や施設管理費等、直接的な経費は配賦(面積や利用者数等の合理的な基準で按分)しているが、間接経費(人事部門の経費等)は配賦しない。

【作成例】

事業(施設)名 ●●●福祉会館

所管部署 ●●●〒町 ← ● ● ●

事業(施設)名やその概要を記載

(1) 事業内容

① 老人の各種の相談 ② 老人の健康の増進、事業の向上及びレクリエーション活動に関する助言及び援助 ③ 児童の健全な発達(発達)への集団指導及び個別指導 ④ 児童の健康の増進及び健全な成長に必要な活動及び援助 ⑤ その他住民活動の増進及び市長が必要と認めうる事業	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">職員数</td> <td style="width: 50%;">2</td> </tr> <tr> <td>運営形態</td> <td>定型</td> </tr> <tr> <td>主要構造</td> <td>RC造</td> </tr> <tr> <td>エリア内人口</td> <td>10,000人</td> </tr> </table>	職員数	2	運営形態	定型	主要構造	RC造	エリア内人口	10,000人
職員数	2								
運営形態	定型								
主要構造	RC造								
エリア内人口	10,000人								

(2) 保有固定資産一覧

資産分類区分名称	所在地	資産名称	取得年数	取得年月	使用開始年月	取得価額等(円)	数量	積数(建物)	減価償却累計額	現在簿価
事業用資産/土地	●●●・〒町 ← ● ● ●	●●●・福祉会館	一年	1999.00.00		350,000,000	6800㎡			
事業用資産/建物		●●●・福祉会館	50年	1999.00.00		340,000,000	1500㎡	2	136,000,000	204,000,000
有形固定資産/工作物		紅葉橋	10年	1999.00.00		30,000,000	300㎡		3,000,000	27,000,000

保有している資産の状況を記載

(3) 地方債情報

種別	借入額(円)	利率(%)	借入年度	償還開始年	借入先	年度末残高(円)
社会福祉施設施設整備事業債	270,000,000		2,000	2013	財政融資資金	140,000,000

※償還期間の括弧書きは償還期間

(4) セグメント情報

BS (単位:千円)

【資産の部】	【負債の部】
固定資産	固定負債
有形固定資産	地方債
事業用資産	その他
土地	流動負債
建物	1年内償還予定地方債
建物減価償却累計額	長期有利負債
物品	負債合計
物品減価償却累計額	【純資産の部】
	固定資産等利益分

PL (単位:千円)

行役コスト	経常収益
人件費	16,000
物件費	17,000
維持補修費	1,400
減価償却費	9,800
補助金等	100
支払利息	1,000
その他	6
合計	45,300

平成20年3月31日現在人口(人)
平成29年度施設利用希望者(人)
1人あたりの経行役コスト(円)

セグメント分析結果

○維持管理経費にばらつきが見られるとともに、一部施設においては、今後の更新を見据えた検討が必要ではないかと推測され、さらに経年比較による分析も行い、施設の保守点検業務等に係る維持管理経費の見直しのきっかけとなった。

今後の課題・展望等

○セグメント別財務書類から得られた情報を分析・検証する時間に充てられるよう、令和元年度から導入している行財政システムの運用試行を行い、将来的には、各所管課においても、セグメント財務書類が取り出せるような仕組みをつくり、全庁的な体制作りに持ち込むことを検討している。